

名向小3年生が マダイ稚魚放流

三浦

三浦市立名向
小の3年生31人

が、マダイの稚魚約300
匹を小網代湾に放流した



写真。県栽培漁業協会が約4カ月かけて8センチほどに育てた稚魚で、多くは3〜4年で20センチ以上に育ったところで漁獲されるという。

児童は、地球温暖化が漁業に与える影響や栽培漁業と養殖漁業の違いなどの説明を、同協会の担当者から聞いた後、「行ってらっしゃい」と声を掛けながら稚魚を海へ送り出した。小川達矢さん(8)は「目がきらきらしていてかわいい。早く戻ってきてほしい」と願っていた。

例年は市内の複数の小学校が合同で放流を行っているが、今年は新型コロナウイルスの影響で学区内に小網代湾がある名向小が、地元NPO法人の協力を得て単独で実施した。